

別紙様式 1

平成 28 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷	施設所在地	徳島市川内町宮島本浦 184
指定管理者名	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループ	指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
施設所管課	とくしま文化振興課	【連絡先】	088-621-2119

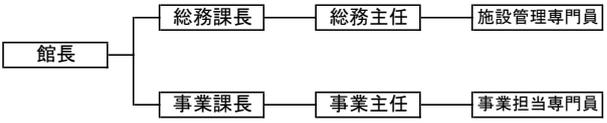
1 施設の概要

設置年月日	平成 18 年 4 月 1 日
設置目的	阿波人形浄瑠璃の振興を図ることにより、県内外の人の交流を促進し、及び豊かな県民文化の発展に寄与する
施設内容	母屋、長屋門、上演舞台、観覧席、展示室など
利用料金等	「徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の設置及び管理に関する条例」に基づき知事が承認した額
開館日・休館日等	1 月 1 日から同月 3 日まで及び 12 月 31 日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・阿波人形浄瑠璃の公演、講座等を開催すること ・阿波人形浄瑠璃に関する資料(以下「人形浄瑠璃資料」という。)を展示すること ・阿波人形浄瑠璃に関する情報を収集し、及び提供すること ・その他十郎兵衛屋敷の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること ・施設、人形浄瑠璃資料等の維持管理(知事が指定する補修等を除く。)に関する業務 ・利用料金に関する業務 ・その他十郎兵衛屋敷の管理に関し知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 3 名	嘱託職員 2 名	派遣職員 名	パート職員 2 名	計 7 名
					

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	28 年度	1,798	2,546	2,448	1,687	3,147	2,285	3,585	3,614	2,018	1,572	1,720	2,074	28,494
	前年度	1,774	2,505	2,332	2,022	3,257	2,512	3,154	2,985	1,384	1,194	1,234	2,083	26,436
	前々年度	1,654	2,821	2,031	1,870	3,270	2,410	2,830	3,369	1,242	974	1,536	2,405	26,412

月別利用料金収入 (千円)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	28 年度	441	788	745	441	1,047	540	888	1,077	748	446	327	734	8,222
	前年度	459	701	643	688	1,149	757	769	929	725	321	357	681	8,180
	前々年度	476	742	579	569	1,058	757	682	768	709	309	482	908	8,039

施設毎利用料金収入 (千円)														計
	28 年度													
	前年度													
	前々年度													

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成27年度(前年度)	平成26年度(前々年度)
収入	指定管理料	28,147	30,892	28,147
	利用料金収入	8,222	8,180	8,039
	事業収入			
	その他	950	24	212
	計	37,319	39,096	36,398
支出	人件費	15,385	14,144	10,461
	維持管理・運営費	9,428	10,375	12,762
	事業費	12,267	14,406	12,672
	その他			
	計	37,080	38,925	35,895
収支		239	171	503

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<p>①人件費について、 業務量に応じた臨機応変な人員配置、変則勤務時間体制の採用による効率的な業務執行を行っている。</p> <p>②管理運営費について、 徹底した事務の改善や見直しや、エコオフィス活動による印刷製本費などの諸経費の削減に努めている。 事務用品の購入などにおいて、効率的な事務執行により経費の削減を図っている。 一部の舞台道具の制作や日常の清掃業務を職員が行うなど、経費の削減に努めている。</p>
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・定期公演に出演する人形座の座員の技術向上を図るために、座員を対象とした講習会を開催した。 ・定期公演の前に前説を行うとともに、前説の内容を外国語版に翻訳し、外国人に翻訳文を配布するなど、来館者が公演の内容を理解しやすいよう工夫を施している。 ・定期上演時間外の来館者に対して、母屋にテレビを設置してビデオ放映することにより人形浄瑠璃を鑑賞できるようにしている。 ・隣接地を借地することにより駐車場の確保に努めているが、イベント開催時には、駐車場を増やすなどして、団体客等の利用促進を図った。 ・シルバーボランティアによる「阿波十郎兵衛屋敷 観光ボランティアガイド」を実施している。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<p>1. 阿波人形浄瑠璃の上演 年間を通じて阿波人形浄瑠璃の定期上演を実施し、県内外の観光客に対して人形浄瑠璃の魅力を伝えて観光振興に資するとともに、特別企画公演の実施や派遣公演を積極的に実施した。</p> <p>2. 阿波人形浄瑠璃の魅力創造 「じょうりクルーズ」の実施や、人形浄瑠璃と他ジャンルを融合した「じょうりに行こうセッション」の開催、更に、母屋を活用した、じょうり鑑賞会や生け花教室を開催するなど、人形浄瑠璃の魅力発信や集客に努めた。</p> <p>3. 教育普及 人形遣いや太夫体験教室を開催し、担い手の育成や新たなファン層の開拓に努めた。</p> <p>4. 情報の収集、発信 県内の人形浄瑠璃関連事業の情報を収集し、インターネット等で全国に発信することにより、阿波人形浄瑠璃の活性化に努めた。</p>
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・来館者及びツアー観光客の添乗員等に対して、適宜、アンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めている。 ・利用者ニーズを職員で共有するとともに、改善策を検討し、管理運営に反映させている。 ・施設入館者数が前年度に比べ増加している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・業務計画書に基づき、適正に実施されている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・施設設備の管理計画により、適正に保守点検が実施されている。 ・県有備品等の管理が適正に行われている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・事業実施における印刷費等の節減や、管理運営におけるエコオフィス活動等により、経費の削減が図られている。 ・業務計画書に基づき、外部委託が適正に実施されている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・業務計画書に基づき、職員の配置や研修等が実施されており、適正な施設の維持管理に努めている。 ・利用料金の徴収、減免が適正に実施されている。 ・月次報告書、事業報告書が適正に提出されている。 ・適宜、セルフモニタリングを実施し、月次報告書等により県に報告がなされている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・業務計画書に記載のとおり、適正に履行されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・地元雇用、地元企業への業務委託の徹底が図られている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・業務計画書に記載のとおり、地域との連携が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・日常点検、定期点検を実施し、施設の安全管理に努めている。 ・緊急時対応マニュアル及び連絡体制が整備され、職員に周知徹底されている。 ・個人情報保護要綱を制定し、職員に周知し、情報管理に努めている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・業務計画書に基づき、エコオフィス活動が徹底されている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令の遵守に努め、処理が適正に行われている。 ・情報公開要綱を制定し、情報公開に努めている。
総合評価	A	・協定書、業務計画書及び指定管理者指定申請書に基づき管理運営業務が実施されている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

・多彩な事業展開により、3年連続で来館者が増加しているものの、全体的には減少傾向であることから、更なる利用者ニーズの把握・分析によるサービスの向上、主催事業の実施に努め、県内リピーターをはじめとした、来館者増に向けた改善策を実施し、人形浄瑠璃の振興を図っていく必要がある。